

布野小 1 年

令和 5 年度 生活科のまとめ

【单元名】ようこそ おもちゃランドへ

～秋のおもちゃランドに招待しよう！～

1. 活動の流れ

小单元名 (時間)	学習活動	連携した関係機関 ・布野保育所
あきをさがそう (4 時間)	・校庭や地域で夏の様子と秋の様子を比べて、どんなところが変化したか違いを観察する。 ・木の実や葉っぱを見たり触ったり遊んだりして秋の自然物にふれる。 ・校庭や地域で秋の自然物を収集する。	
あきのしぜんであそぼう (3 時間)	・集めた自然物で遊んだり、比べたりすることでそれぞれの特徴や面白さに気付く。 ・遊びながら簡単なおもちゃを作る。	
あきのおもちゃをつくろう (6 時間)	・集めた自然物や身近な材料を組み合わせておもちゃを作る。 ・おもちゃや遊び方(ルールや約束)を工夫しながらつくり、遊びを通して改良する。	
ようこそ！おもちゃランドへ (8 時間)	・青組さんをおもちゃランドに招待する計画を立てる。 ・それぞれのおもちゃで遊びながら、おもちゃや遊び方(ルールや約束)を青組さんが楽しめるように改良する。 ・おもちゃランドで青組さんと遊び、学習を振り返る。	

2. 活動の様子

夏までは緑色の葉っぱだったけど、だんだん黄色になっているね。



校庭で秋見つけ

木の下にどんぐりがいっぱいあったよ。青組さんもたくさん拾っていたよ。



青組さんとどんぐり拾い

青組さんが一緒に楽しめるように竿を 2 本に改良してよかった。



青組さんとおもちゃランド

3. 成果と課題

- 「青組さんのため」という相手意識が明確だったため、児童は「青組さんならこうした方がいいかな」などと考える姿や粘り強くおもちゃを作製する姿につながった。
- 改良場面では、「壊れにくいかな」、「簡単か」、「おもしろいか」という視点を児童と共有したことで、「もっとこうしたらいいよ」というアドバイスがしやすくなり、学びの深まりが見られた。
- ワークシートに書くことだけでは、児童の気付きが残りにくいいため、ICT を活用して写真を残したり、写真に○印を書き込ませたりすると、気付きの広がりが生まれると考える。
- 友達との対話に重きを置いていたため、もっと自然物との対話を大切にすると、気付きの質が高まるため、バランスを意識したい。